

【別紙様式】

平成28年度 津山市立高倉小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み		算数 A B・・・計算問題は向上。「場面の適用」「理由を書く」に課題 国語 A B・・・「話すこと・聞くこと」「記述式」に課題
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	問題データベースを活用し、全校学力調査問題（A・B問題）の課題のあった類似問題を取り上げ、朝モジュール、放課後学習、授業中に位置づけて取り組む。	B	○家庭学習の手引きを活用する。（アンケート調査で活用90%以上） ○基礎基本が定着しにくい児童には、引き続き個別指導を行う。 ○活用問題は問題データベースを使用し、A・B問題で課題のあった類似問題を解く。（100%）
①	落ち着いた学習環境を継続させ、基礎基本の徹底を図る。	A	○学習規律と家庭学習の徹底と内容の工夫に全校で取り組む。 ○（全国学力テスト）全教科で県平均を上回る。 ○（県学力テスト）全教科で県平均を目指す。 ○来年度も放課後学習を続ける。（毎水曜日、算数を中心に）
②	「考えを書く」「考えを説明する」「最後まで聞く、話す」に重点的に取り組む。	B	○モジュール学習で“たしかめテスト（国語）”問題データベースを活用する。（100%） ○どの学年でも授業の中でキーワードや条件を入れてまとめ、自分の考えを的確な言葉で表現するなど、記述に慣れさせる。
③	全職員で児童理解に努め、一人ひとりの達成感、満足感を大切に、自己肯定感を高めるように努める。	A	○「生活アンケート」を実施し、児童一人一人との面談を行い、アンケート結果を分析して、児童の実態と変容を全教職員で把握し、児童理解に努める。（毎学期） ○全校朝の会、児童会のあいさつ運動、縦割り班活動、地域学習等の中で、児童が主体的に取り組む内容を工夫し継続する。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」